



私の街こまつ



速いは近い  
つながる小松

THE KOMATSU CITY COUNCIL NEWS

# 議会だより



2025

5.1

NO.217



## 令和7年度 当初予算全会計 1,107億5,020万円を可決

### Contents

3月定例会	2	特別委員会 調査報告	14
市政Q&A	3	議決結果	15
常任委員会 審査報告	11	議会活動報告	16

撮影 小松大谷高等学校写真部 3年生 玉利 光さん



市議会HP



マチイロ

## 新副議長に岡山 晃宏議員を選出



第59代  
小松市議会副議長  
岡山 晃宏

### 《就任の御挨拶》

市民の皆様には、日頃より市政並びに市議会活動に温かい御支援と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

この度、令和7年3月定例会におきまして、第59代小松市議会副議長に就任することになりました。身に余る光栄であります。

加速する人口減少社会により本市を取り巻く状況は厳しさを増し、課題も多岐にわたっております。市議会といたしましても、市民の皆様へ寄り添い、夢と希望に満ちあふれた持続可能なまちづくりを進める必要があります。

何とぞ市民の皆様への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の御挨拶といたします。

岡山副議長のご就任に伴い、下記のとおり選任されました。

- ◆福祉文教常任委員会 委員長 吉村 範明
- ◆議会だより編集委員会 委員長 吉柴 文悟 副委員長 深田 博智

## 3月定例会

会期〈2月21日～3月13日〉

2月21日 開会

市長提出議案

予算案 18件

条例案 13件

その他議案 2件

3月3日 一般質問 (7人)

4日 一般質問 (4人)

5日 一般質問 (5人)

6日 各常任委員会 (分科会)

10日 各特別委員会

11日 予算決算常任委員会

13日 閉会

市長提出追加議案 1件

議員提出議案 3件

※議案等の採決結果 (P15参照)

### 条例案等をチェック

市長から提案のあった条例案やその他の議案については、各常任委員会で審議されました。(P12参照)

### 議員提出議案をチェック

議員から提出された議案のうち意見書については、可決された意見書を、内閣総理大臣をはじめ、関係機関に送付しました。(賛否はP15参照)

議案第1号 小松市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について

議案第2号 小松空港周辺への防災庁の誘致に関する決議

議案第3号 社会福祉施設職員等退職手当共済制度における保育所等に対する公費助成の継続を求める意見書

### 人事案件

固定資産評価審査委員会委員

中村 恵美 氏 (大領中町)

の選任に同意しました。

### 本会議の討論

次の市長提出議案に対し、橋本議員から反対討論がありました。

議案第1号 令和7年度小松市一般会計予算

議案第2号 令和7年度小松市国民健康保険事業特別会計予算

議案第19号 小松市手数料条例の一部を改正する条例について

議案第22号 小松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

また、次の議員提出議案に対し、橋本議員から反対討論、川崎議員から賛成討論がありました。(P15参照)

議案第2号 小松空港周辺への防災庁の誘致に関する決議

## 予算案をチェック

市長から提案のあった予算案については、予算決算常任委員会で審査されました。(P11参照)

### 令和7年度当初予算

会計名		当初予算額	令和6年度からの伸率
一般会計		538億1,000万円	4.2%
特別会計	国民健康保険事業	89億790万円	▲ 0.9%
	介護保険事業	106億4,600万円	1.6%
	公債管理	63億5,220万円	▲ 5.1%
	産業団地事業	2億7,680万円	▲ 91.3%
	後期高齢者医療	20億3,320万円	2.6%
企業会計	水道事業	38億230万円	▲ 2.5%
	下水道事業	118億6,580万円	20.7%
	病院事業	130億5,600万円	10.2%
全会計の合計		1,107億5,020万円	2.0%

### 令和6年度3月補正予算

会計名	補正額
一般会計	6億5,555万円
特別会計	▲ 6,654万6千円
企業会計	▲ 6,650万円
計	5億2,250万4千円

令和6年度

一般会計の累計

565億5,001万7千円

全会計の累計

1,156億4,310万9千円

## 一般質問 市政 Q & A

#### ◆森林整備に関わる現状

**Q** 林業が抱える課題は。

**A** 木材価格の下落、森林所有者の高齢化や不在村者の増加による施業意欲の著しい低下、林業従事者の高齢化や担い手不足などによって、伐採期を迎えたものの思うように主伐が進んでいない。

**Q** このままでの想定は。

**A** 森林の循環利用が図られず、森林が荒廃し、水源涵養や山地災害防止といった森林の持つ多面的機能が低下するとともに、里山周辺の山林が過密化し、野生獣の通り道や隠れ場所となって人の生活圏に今まで以上に出没することになるなど、私たちの安全で安心な生活へ大きな影響を及ぼすことが懸念される。

#### ◆今後の取組について

**Q** 獣害対策は。

**A** いしかわ森林環境税を活用し、平成25年度より手入りが十分にされていない

里山周辺の山林について、藪の刈り払いなどにより、人と野生獣の生活を区別する緩衝帯整備を計画的に実施している。令和6年度時点で合計約50ヘクタールの整備を実施している。

**Q** 治山対策は。

**A** 山地災害防止機能や水源涵養機能が適切に発揮されるよう、市行造林事業による間伐や森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度による間伐を行っているほか、今年度から間伐事業で発生した幹や枝などが豪雨時に流出しないよう、林地残材を森林から工場まで搬出する費用の一部を林業経営体に補助する取組を実施している。

**Q** どのように山を守るのか。

**A** 里山周辺の山林については、緩衝帯整備や森林環境譲与税を活用し、倒木による電線などの重要インフラへの被害防止を事前に図る森林整備などの実施により、適切に保全、管理を行っていく。さらに、木育講座や緑の少年団などの活動を通じ、森林の恵みへの理解を深めるとともに、森林づくりに関心を持ってもらう取組についても積極的に進めていく考えである。

故郷を守る  
森林環境整備について



ふかた ひろとも  
深田 博智  
議員

一括質問



動画でチェック

市制100周年になる2040年、人口10万人都市の実現に向けて



よしもと しんたろう  
吉本 慎太郎  
議員

一括質問



動画でチェック

◆本年1月公表の「こまつ人口レポート」から見えてくる実情

**Q** 小松市が近年実施している、様々な移住・定住施策の実績は。

**A** 「ようこそ小松」定住促進奨励金制度を利用した転入者数は、2023年度で307人。

**Q** 外国人住民の数と割合は。また、外国人の就労分野は拡大しているのか。併せてその方策は。

**A** 3,217人で、割合は約3.1%。顕著に拡大している分野は確認されておらず、商工会議所等との協定に基づき、市内事業者の雇用情勢や雇用のニーズなどを踏まえて取組を進めていく。

**Q** 今年で4年目を迎える公立小松大学卒業生の南加賀地域における企業就職率の推移は。

**A** 県内企業が約5割、そのうち南加賀地域は約17～18%台。

**Q** 若者、特に若年女性の就労環境の現状は。また、就労環境向上のための今後の取組は。

**A** 20代前半の女性は男性に比べて転出超過が顕著であるため、IT関連企業やデザイン等、これまで本市にはなかった新しい産業の誘致や、女性のデジタル人材の育成等により、若者や女性の就労環境を整えていきたい。

**Q** こまつ人口レポートでは2040年、国の推計より自然・社会動態併せて7,000人以上増加するとある。主たる原因として合計特殊出生率等の向上が挙げられているが、この上積み試算の根拠は。

**A** 若い世代の出産子育て希望が実現した場合に、国全体での希望出生率は1.8程度という試算の中、本市の出生率は国全体より0.3程度上回って推移している。

**Q** 多角的な施策を用いての人口増加策に鋭意取り組みながら、10万人都市の維持、継続を図ることが肝要。

**A** 「増子化対策」として取り組むべき次元であり、国と地方が一丸となつてこの難局に立ち向かっていかなければならないと捉えている。

子育て環境の充実と観光政策について



おかやま あきひろ  
岡山 晃宏  
議員

一括質問



動画でチェック

◆放課後児童クラブ支援について

**Q** クラブに通う児童の割合は。

**A** 近年は、利用する児童が増加傾向。令和3年度20.4%、令和4年度21.5%、令和5年度24.3%。

**Q** 希望する児童の受入れ状況は。

**A** 市基準の1人当たり概ね1.65㎡を超えた場合、やむを得ず入所を断ることも可能だが、学校と連携し学校施設を利用するなど、安全な場所で児童を預かれるようスペースの確保に努めている。

**Q** 子育てを応援したい方と現場をつなぐシステムを構築するなどして人員不足を補うサポートはできないか。

**A** 放課後児童クラブには、資格を持つ支援員のほか補助員を置くことができる。そのため、保育士等の資格がない人でも働けるよう、県等が実施する研修会への参加を促したり、連絡協議会主催の研修などで他クラブの職員と意見交換を行う場を設けたりするなどのサポートを継続していきたい。

**Q** 希望者増により年によっては支援の単位を増やすことが必要になったとき、学

校の空き教室を使うなどのサポートはできないか。

**A** 学校の活動に支障のない範囲で、長期休暇などに学校施設を使用しているクラブもある。

◆観光政策について

**Q** 観光関連予算が減額されているが。

**A** 大阪・関西万博出展に係る経費を別事業として計上したことや観光関連団体への負担金が減額となったことによるもの。

**Q** 新幹線2年目の今年、関係人口増加を目指し、大都市にサテライトの拠点を設け、職員を常駐させるなど、人員と予算を投じて小松をPRする必要があると思うが、本市の県外での誘客推進施策は。

**A** 令和7年度の主な取組として、富山県南砺市と共同して、大阪・関西万博への出展を計画。7月には自治体催事である「ローカルジャパン展」に出展し、那谷寺など世界に通用する歴史遺産を国内外に発信する好機となることを期待する。